

第9回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年10月11日

会場：松ノ木中学校

みんながしあわせと思える松ノ木中を創るには

今回の意見交換会は、松ノ木中学校で「みんながしあわせと思える松ノ木中を創るには」をテーマに生徒と学校運営協議会の委員、教育委員会の職員と一緒に話し合いました。今回は授業ではなく、放課後の時間を利用しての開催となりましたが、1年生から3年生までの多くの生徒が集まってくれました。



会場の様子

①「しあわせ」とは何か。

まず、各グループで「自分のしあわせ」を発表し合いました。「クラスや部活で団結を感じる」「踊ったり、音楽を聴いたりすること」「部屋でゆっくり本を読むこと」など、生徒、学校運営協議会の委員、教育委員会の職員がそれぞれ「自分のしあわせ」を出し合いました。みんなの意見に共感しながら、しあわせや価値観が人それぞれ違うことを確認し合いました。

②「みんながしあわせと思える松ノ木中」とは

次に「みんなのしあわせ」や「みんながしあわせと思える学校」を考えていきました。

あるグループでは「学年にとらわれず、みんなが仲の良い学校にしたい」と考える中で「上級生と下級生の間で敬語は必要なのか」という議論になりました。「先輩も後輩も関係なくみんなが仲良くなりたい」という思いから「敬語は必要ない」という意見もあれば、「社会に出たら敬語が必要になるのだから、学校生活で敬語を使えるようにするべき」という意見も出ました。生徒それぞれが自分の考えを持ち、対話をすることで「みんながしあわせと思える学校」を追求していく活発な話し合いになりました。



グループには大人も入りましたが、生徒は積極的に発言をしてくれました。

また、「生徒の意見を広く聞くためにリクエストボックスを増設した」や「みんなで話し合っただけで靴下の色に関する校則を変えた」と、今までの取組を教えてくれた生徒がいました。「学校を自分たちで良くしたい」という思いを生徒が既に持っているということが伝わってきました。

いくつかのグループでは、「学校でのしあわせ」から「地域のしあわせ」に議論が発展していきましました。あるグループでは、生徒が学校運営協議会の委員に対し、「中学生からあいさつされたら嬉しいですか」などを質問していました。「地域のしあわせ」と考えると少し難しいですが、「地域の人が嬉しいと思うこと」に置き換えることで、自分に具体的に何ができるかを考えやすくしていたのだと感じました。そして、あいさつなどを通じたかかわりを持つことが大切なのではないか、と話し合っていました。

③各グループの発表

40分程度の意見交換を終えて、最後に各グループが話し合いの内容を発表しました。

あるグループは「誰一人取り残さず、みんなで創る松ノ木中」という標語とともに、今学校に登校できていない生徒も含めて、誰一人取り残さない学校にしたいという思いを話してくれました。

またあるグループは「コロナ禍で学校に行けなかった時に自分で考えた勉強法を資料にまとめ、下級生に伝えたい」と話してくれ、上級生の下級生を思いやる気持ちが伝わってきました。



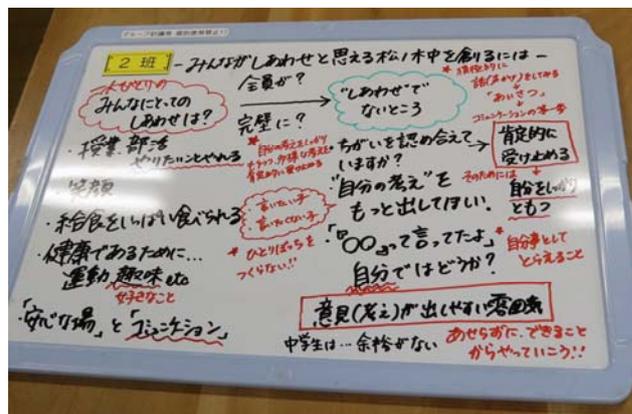
各グループの代表者が話し合いの内容を発表してくれました。

他にも、「しあわせとは自由であること」と考えたグループは、自由であることの必要性を主張しながらも、生徒が責任を負う必要性についても認識し、「みんなが納得できるルール」を作ることが大切であると話してくれました。

意見交換会を振り返って

多くのグループから「誰一人取り残さない」「話し合いを大事にする」「ちがいを認め合う」など、「杉並区教育ビジョン2022」の中で、大切にしたいこととしている内容と同じような考えが多く出ていたのが印象的でした。

学校や地域でやりたいことなどを話す生徒の様子から、教育の当事者としての思いが多くの生徒にあることが分かり、とても頼もしく感じました。



第9回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年10月11日
- ・参加者 松ノ木中学校 有志生徒・学校運営協議会委員

令和4年11月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111